

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 5年 3月 15日

事業所名:発達療育 レンテ市川第二

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2	4部屋稼働している時に面談室がない。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	3	職員の配置基準は充たしているが、急な欠勤が出た時等、事務・セラピスト共に余裕がない。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	1	段差がありバリアフリーではない。床が硬い。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	1	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	2	毎月、必要に応じて担当者全員でケースミーティングを行うなど、職員同士で広く参画出来ていると思う。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1	会報は作成していないが、ホームページで公開を行っている。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	6	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	3	様々な役職の人に合わせて研修の機会が必要。セラピーに関する研修も勿論だがキャリアアップのための研修なども必要。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	0	保護者との丁寧な面談、ニーズと実際の行動観察を含めて必要な支援のご説明を心掛けている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	
	12	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	0	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	立案に関しては基本SV(スーパーバイザー)が作っているが、初回アセスメントを必ず複数で行い、担当した者からの意見を取り入れ作成している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5	1	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1	開始前に各個人で課題や支援方法の確認を行っている。説明が必要なプログラムにおいては全体共有を行っている。直接の打ち合わせは必ずではないが、開始前は今までの様子を詳しく記録した連絡ノート、課題のデータを毎回担当職員が必ずチェックした上で支援に臨んでいる。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1	支援終了後には、担当した職員が必ず支援の内容を記載し、全職員で共有出来るようにしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	行動データをもとに支援成果を検証、次の支援に繋げており、根拠を持った支援を行っている。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	2	
	23 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	0	訪問支援には力を入れており、相互理解を図って支援を行うことで効果が発揮される様子も多くみられている。
	24 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	0	引き継ぎ書や必要に応じて訪問支援の提供を行っている。
	25 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	
	26 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	2	
	27 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	
	28 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	5	1	SV(スーパーバース)時に各ご家族の相談対応は実施している。困りごとがあれば適宜フィードバックの際に上手くいく対応方法を共有している。必要に応じてサポートをしているが、個別支援と比べると家族支援に注力はできていない。
保護者への説明責任等	29 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	
	30 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	0	
	31 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	6	
	33 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	毎回セッション終了時にフィードバックの時間を設ける事で、その都度相談や申入れをタイムリーに受けやすい体制を強化している。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	4	
	35 個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	1	
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	
非常時等の対応	37 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	0	
	38 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	
	39 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6	0	
	40 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	
	41 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	
	42 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6	0	

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表：令和 5年 3月 15日

事業所名： 発達療育 レンテ市川第二 保護者等数（児童数） 20 (23) 回収数 12 割合 60%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	0	0	1	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	11	1	0	0	事務所にだれもいない時があるので防犯上、どなたか1人はいた方がよい。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	2	0	1	コロナのこのご時世、難しいとは思いますが、マスクを外した口の動きや顔全体の表情が分かる方が効果は高いだろうと思います。表情の分かる透明マスクの導入等、検討頂けると嬉しいです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11	1	0	0	
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	12	0	0	0	とても丁寧に個人の課題を分析しているので頼りにしている。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11	0	0	0	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11	1	0	0	
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	8	3	0	1	セラピーの様子が見られないので、どんなプログラムかわからない。
保 護 者 へ の 説 明 等	9	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	0	0	0	
	10	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	11	1	0	0	
	11	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	7	1	1	3	プログラムはやったことないが、本はお借りしました。
	12	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	11	1	0	0	毎日とまではありませんが、連絡帳またはLINEや他のツールなどで面談以外の簡単な連絡手段があるといいなと思います。

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見
保護者への説明等	13 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	0	0	0	
	14 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	4	6	2	保護者同士の連携は取れていません。
	15 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11	1	0	0	他事業所に比べて対応が丁寧なので会社としての誠実性を感じており、安心して通所できる。
	16 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	1	0	0	先生の名札をつけて頂けると助かります。時間がたっても先生の名前を覚えられなくて残念な気持ちです。写真付きの先生の名前を確認できるように、玄関のところに貼って頂いてもよいかと思います。
	17 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7	1	0	4	
	18 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	10	2	0	0	
非常時等の対応	19 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	9	1	0	2	
	20 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	1	0	2	
満足度	21 子どもは通所を楽しみにしているか	10	2	0	0	
	22 事業所の支援に満足しているか	11	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要と判断した時点で可能な限り早い支援のスタートをと希望したこちらの要望を最大限聞いて頂き、迅速に動いて頂きました。通い始めてまだ日が浅いですが、信頼し、お願いしています。 ・行動分析学によるセラピーのおかげで回を追うごとに進歩がみられています。 ・両親とも仕事をしていますので、週3回から通うのははじめは躊躇しましたが、お願いできてよかったです。親自身も学びながら子どもがより良い人生をおくれるように働きかけたくと思っています。

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。